

これからの研究インテグリティ・研究セキュリティ
—先端材料研究開発分野を起点に考える産官学それぞれのあり方—

研究インテグリティ・研究セキュリティの現状と課題 —先端材料研究開発分野から考える、産官学の責任と協働—

JFEスチール株式会社
スチール研究所
岸本康夫

産業界における研究インテグリティは 「倫理」ではなく「経営課題」

- データの信頼性低下や情報流出
は、企業価値を直接毀損
- 研究不正対応は「守り」ではなく
「信頼構築の投資」
- 組織的ガバナンスが競争力を左右
する時代



現状認識：産業界の特徴 (アンケート結果から)

◆産業界の強み

- 専門部署(知財・法務)による組織的サポート
- 研究者が研究に集中できる体制が比較的整備

◆顕在化している課題

- 管理ルール・安全保障意識に対する現場レベルでの理解・運用のばらつき
- 経営層と研究現場でのリスク認識ギャップ

企業内における 研究インテグリティ・セキュリティのジレンマ

① 企業内におけるジレンマ(組織・人材)

- 開発スピード・成果圧力とデータの健全性
- 人材流動化に伴うデータ・知識管理リスク

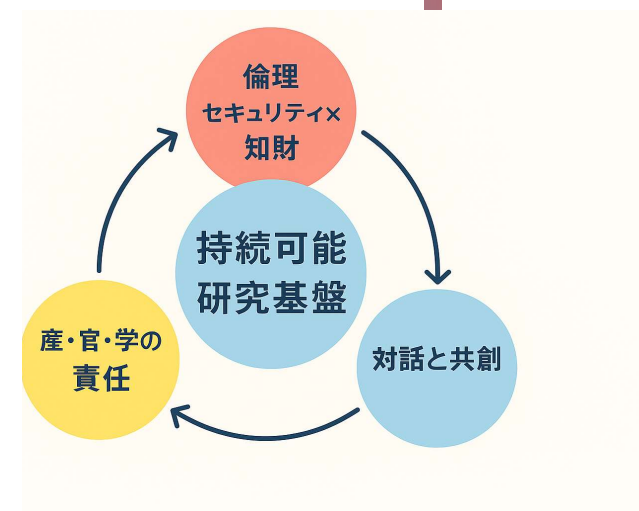
産学連携における 研究インテグリティ・セキュリティのジレンマ

② 産学連携におけるジレンマ(外部連携)

- 学術的公開性と知財・機密管理の衝突
- 多様な関係者が関与するプロジェクト統治の難しさ

制約ではなく「推進力」となる研究インテグリティへ

- 倫理・セキュリティ・知財を統合的に設計
- 産官学で責任と役割を明確化
- 研究者が制度設計プロセスに当事者として
関与



⇒ 対話と共創により、制約ではなく「推進力」となる信頼性の高い研究環境へ

END